



Infor LN 調達 購買契約ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	procpcug (U9822)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017年12月21日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
複数サイト構造での契約.....	8
法人購買契約.....	8
集中契約.....	8
第2章 手順.....	9
購買契約の指定.....	9
第3章 法人契約.....	13
法人購買契約.....	13
制限.....	13
法人購買契約の指定.....	14
固有事項.....	15
第4章 契約の取得.....	17
購買契約および購買スケジュール.....	17
購買契約および購買オーダー.....	17
第5章 オプション処理.....	19
購買契約のオプション処理.....	19
購買契約のコピー.....	19
購買契約の評価.....	21
付録A 用語集.....	23

索引

文書情報

この文書では、購買契約の概要を紹介し、購買契約手続きの機能とステップについて説明します。法人購買契約を管理する手順と契約取得の手順についても詳しく説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	購買契約の概要
第 2 章	手順	購買契約手順のステップ
第 3 章	法人契約	法人購買契約の定義および設定
第 4 章	契約の取得	購買オーダーおよびスケジュールの購買契約の取得
第 5 章	オプション処理	購買契約手順のその他の機能

参照

このガイドは、購買契約の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 購買マスターデータユーザガイド U9817 JA
購買マスターデータの設定を理解するために使用します。
- 条件ユーザガイド U9499 JA
契約条件の設定および使用を理解するために使用します。
- 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド U9821 JA
見積依頼手順を理解するために使用します。
- 購買オーダーユーザガイド U9824 JA
購買オーダー手順を理解するために使用します。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買と販売スケジュール手順を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

購買契約を使用して、特定商品の納入に関する購買元取引先との合意を登録します。

これらの合意は、次のレベルで登録できます。

- **購買契約ライン**
契約ラインで、一定期間の特定品目または品目グループの納入に関する取引先との合意が登録されます。これらの合意では、合計数量、価格、および値引に焦点が当てられています。有効期間を指定し、購買する最小数量をバインドするかどうかを指定できます。
- **条件合意**
条件合意では、商品の販売、購買、または転送について、オーダー、計画、ロジスティック、請求、および需要ペギングに関する詳細な条件が登録されます。購買条件合意を使用するには、標準の購買契約にリンクさせる必要があります。

契約タイプ

次の契約タイプを指定できます。

- **通常契約**
- **特別契約**

購買取引先ごとに、1期間に複数の特別契約をクローズできます。特定の期間では、購買元取引先の品目または価格グループごとに複数の通常契約タイプを指定することはできません。

購買契約は、購買オーダーまたは購買スケジュールの基盤として使用されます。購買契約で指定されたデータは、リンクされた購買オーダーまたは購買スケジュールで指定するデータの親として機能します。

計画購買オーダーまたは購買スケジュールを企業計画から作成する場合、発注先選択処理中に、所要品目を供給できる購買取引先が検索されます。購買スケジュールパラメータ (tdpur0100m500) セッションの [購買元取引先検索スケジュール] タブおよび購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [購買元取引先検索オーダー] タブで指定されている優先検索レベルに基づいて、購買契約を使用して購買取引先を検索できます。有効な取引先が見つかった場合、企業計画に送付されてそこで選択されます。

複数サイト構造での契約

法人購買契約

複数会社構造では、法人購買契約を指定することもできます。このような契約を使用して、価格合意を一括で指定し (購買契約ラインを使用)、ロジスティック合意は分散させて指定します (購買契約ライン詳細を使用)。

法人購買契約では、法人レベルで格安の価格合意を行い、この価格をサイトレベルで使用することができます。法人購買契約は、プッシュスケジュールにのみ使用できます。

注意

法人購買契約は、契約ヘッダレベルではなくラインレベルで指定します。したがって、購買契約には [合計] タイプのラインおよび [契約ライン] タイプのラインの両方を含めることができます。合計ラインには契約ライン詳細がリンクされており、法人購買契約にのみ適用できます。契約ラインは通常の購買契約に適用されます。

集中契約

複数会社構造では、さまざまな購買オフィスが異なるロジスティック会社から使用できる 1 つの集中契約を定義できます。これらの契約には、次の条件が該当します。

- 中央購買オフィスは、購買契約と購買価格をメンテナンスします。
- 価格およびロジスティック合意は、購買契約ラインにより中央レベルで指定されます。
- 別個の各ロジスティック会社 (サイト) は、発注先から直接に購買し、入庫を処理し、請求書を支払います。
- 現地購買オーダーは、集中契約で定められた条件、価格、および値引に基づいています。
- 現地会社の購買数量は、集中契約に合算されます。
- 集中契約を維持する会社では、在庫が他の会社に存在するので、納入スケジュールを使用して計画在庫処理に更新できません。納入スケジュールが使用できるのは、情報を表示する場合のみです。
- 発注先の実績情報は、購買オーダーを発行する現地会社に記録されます。

注意

集中契約を使用する前に、会社は論理テーブルリンクまたは複製を使用して契約テーブルを共有する必要があります。

契約ラインテーブルを共有する場合、購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [法人購買契約の使用] チェックボックスが、すべての会社について同じ値であることが必要です。

詳細は、次の情報を参照してください::

- User's Guide for Multicompany Structures (U9504 US)
- User's Guide for Multicompany Table Sharing (U9505 US)

購買契約の指定

購買元取引先との合意を記録するには:

ステップ 1: 購買契約 (tdpur3100m000)

購買契約 (tdpur3100m000) セッションで、購買契約ヘッダの一般データを指定します。このセッションには主に、購買取引先の関連データがあります。契約ヘッダでは、条件合意もリンクできます。

このセッションでは、条件合意を次のようにしてリンクできます。

- 合意をマニュアルで条件 (tctrm1100m000) セッションから選択します。
- テンプレートから合意を生成し、契約ヘッダに自動的にリンクさせます。適切なメニューの [テンプレートから条件を生成] をクリックし、テンプレートから条件を生成 (tctrm2200m000) セッションを開始します。

契約にリンクできる組合せは次のとおりです。

- 条件合意と契約ラインの両方
- 契約ラインではなく条件合意のみ
- 条件合意ではなく契約ラインのみ

ステップ 2: 購買契約ライン (tdpur3101m000)

購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで、ある期間の特定品目に関する購買取引先との合意が含まれる購買契約ラインを指定します。

ステップ 3: 購買契約価格 (tdpur3103m000)

購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションで、購買契約価格改訂に、購買契約ラインの価格および値引を記録します。

契約ライン品目が構成可能品目の場合、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [オプション基準価格] チェックボックスがオンになっていると、品目価格は購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションからではなく製造の一般価格リストから取得されます。

有効な価格と値引を購買契約から取得できない場合、その他のソースで価格と値引の検索が続行されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 購買契約価格改訂の設定 (ページ 10)

ステップ 4: 購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000)

外部取引先との購買スケジュールを契約ラインにリンクする場合は、購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションで購買契約ラインのロジスティックデータを指定します。内部取引先との購買スケジュールのみを使用する場合は、契約は必要ありません。

購買契約ラインのロジスティックデータは、その購買契約ラインにリンクされている購買スケジュールのデフォルト値として使用されます。ロジスティックデータを指定しない場合、外部の取引先に購買スケジュールを作成することができません。

詳細は、次の情報を参照してください: 契約ラインロジスティックデータの設定 (ページ 10)

ステップ 5: 納入契約 (tdpur3104m000)

タイムフェーズ納入詳細がすでにわかっている場合、納入契約 (tdpur3104m000) セッションで、購買スケジュールの代わりに納入契約を作成できます。納入契約は実際のスケジュールではありませんが、購買オーダーを遅れずに生成するためのスケジュールソリューションです。

詳細は、次の情報を参照してください: 納入契約の設定 (ページ 11)

注意

前のステップは、購買契約 (tdpur3600m000) または購買契約 (tdpur8330m000) セッションを使用して実行することもできます。

法人購買契約を指定するには、法人購買契約 (ページ 13)を参照してください。

購買契約価格改訂の設定

購買契約価格改訂を設定するには、次の操作を実行します。

1. 購買契約を購買契約 (tdpur3100m000) セッションで作成します。
2. 購買契約ラインを購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで作成します。
3. 購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの適切なメニューで、[契約価格] を選択します。購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションが開始されます。
4. 購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションで、購買契約価格改訂を指定します。

契約ラインロジスティックデータの設定

購買契約ラインについてロジスティック合意条件を設定するには、次の操作を実行します。

1. 購買契約を購買契約 (tdpur3100m000) セッションで作成します。
2. 次の設定で、購買契約ラインを購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで作成します。
 - [購買スケジュールを使用] チェックボックスがオンになっている
 - [納入契約可] チェックボックスがオフになっている
3. 購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの適切なメニューで、[ロジスティックデータ] を選択します。購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションが開始されます。
4. 購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションで、購買契約ロジスティックデータを指定します。

注意

購買契約が法人購買契約であり、購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100) セッションで購買契約ラインの購買契約ライン詳細が指定されている場合、購買契約ラインロジスティック詳細ライン (tdpur3102m100) セッションで購買契約ライン詳細のロジスティック合意条件も指定する必要があります。購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100) セッションで、[ロジスティック詳細ライン] を選択します。

納入契約の設定

契約を指定するとき、タイムフェーズの納入詳細がすでにわかっている場合、購買スケジュールの代わりに納入契約を作成できます。納入契約は実際のスケジュールではありませんが、購買オーダーを遅れずに生成するためのスケジュールソリューションです。

納入契約を設定するには、次の操作を実行します。

1. 購買契約を購買契約 (tdpur3100m000) セッションで作成します。
2. 次の設定で、購買契約ラインを購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで作成します。
 - [価格グループの全品目に対し契約を適用] チェックボックスをオフにします。
 - [購買スケジュールを使用] チェックボックスをオフにします。
 - [納入契約可] チェックボックスをオンにします。
3. 購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの適切なメニューで、[納入契約] を選択します。納入契約 (tdpur3104m000) セッションが開始されます。
4. 納期、および指定した日付に納入する数量を納入契約 (tdpur3104m000) セッションで指定します。
5. 納入契約 (tdpur3104m000) セッションの適切なメニューから [購買オーダーの生成] を選択して、購買オーダーの生成 (tdpur3204m000) セッションで計画納入の購買オーダーを生成します。計画納入の購買オーダーを生成できるのは、購買契約と購買契約ラインの状況が [有効] の場合のみです。

法人購買契約

法人購買契約は、マルチサイト会社が購買元取引先との契約合意条件の交渉に使用するものです。その後、価格合意条件を一括指定し(購買契約ラインを使用)、ロジスティック合意条件は分散させて指定します(購買契約ライン詳細を使用)。法人購買契約では、法人レベルで格安の価格合意を行い、この価格をサイトレベルで使用することができます。

法人購買契約を使用すると、次のことができます。

- 複数サイトの場合、購買契約を購買元取引先ごとおよび品目ごとに行う
- 合計数量を購買契約ライン別に追跡し、要求数量をサイト別に分割する
- 実績を分析するため、合計数量に対する実際の消費を、契約ライン別(法人を意味する)および契約ライン詳細別(サイトを意味する)に追跡する

制限

法人購買契約を指定するには、事前に次の設定を行います。

- 購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [法人購買契約の使用] チェックボックスをオンにします。
- 品目 (tcibd0501m000) セッションで、契約品目に関して、[購買スケジュールの使用] チェックボックスをオンにして、[スケジュールタイプ] フィールドを [プッシュスケジュール] にします。このように、法人購買契約は、プッシュスケジュールにのみ使用できます。
- 品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションで、契約品目について [倉庫に発行] チェックボックスをオンにします。
- そして、購買契約ラインの購買契約ライン詳細を指定します。状況が [フリー] であり、[勧告数量]、[コール数量]、および [請求数量] がゼロである必要があります。

注意

法人購買契約は、契約ヘッダレベルではなくラインレベルで指定します。したがって、購買契約には [合計] タイプのラインおよび [契約ライン] タイプのラインの両方を含めることができます。合計ラインには契約ライン詳細がリンクされており、法人購買契約にのみ適用できます。契約ラインは通常の購買契約に適用されます。

法人購買契約の指定

購買元取引先との法人合意を記録するには:

ステップ 1: 購買契約 (tdpur3100m000)

購買契約 (tdpur3100m000) セッションで購買契約ヘッダを指定します。

ステップ 2: 購買契約ライン (tdpur3101m000)

購買契約 (tdpur3600m000) セッションで購買契約ラインを指定します。

ステップ 3: 購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000)

購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションで、購買契約ラインにロジスティック合意条件を指定します。

詳細は、次の情報を参照してください: 契約ラインロジスティックデータの設定 (ページ 10)

ステップ 4: 購買契約価格 (tdpur3103m000)

購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションで、購買契約ラインに契約価格改訂を指定します。

これらの価格は、購買契約 (合計) ラインにリンクされている購買契約ライン詳細でも使用されません。

購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションで [累計値崩れ] チェックボックスをオンにすると、スケジュールラインの価格は、この契約合計ラインを共有するすべてのスケジュールの累積値の総計に基づいて計算されます。

ステップ 5: 購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100)

購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100) セッションでは、購買契約ライン詳細を指定します。

ステップ 6: 購買契約ラインロジスティック詳細ライン (tdpur3102m100)

購買契約ラインロジスティック詳細ライン (tdpur3102m100) セッションでは、購買契約ライン詳細のロジスティック合意条件を指定します。このセッションでは、親購買契約 (合計) ラインにリンクされている購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションからデフォルト値を取得します。

詳細は、次の情報を参照してください: 契約ラインロジスティックデータの設定 (ページ 10)

ステップ 7: ラインの分割 (tdpur3101m200)

オプションで、ラインの分割 (tdpur3101m200) セッションで購買契約ライン詳細を 2 つのライン詳細に分割することもできます。新しい契約ライン詳細の情報は購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100) セッションから取得され、ここから分割を開始します。ロジスティック合意条件も、新しい購買契約ライン詳細から自動的に取得されます。

注意

前のステップは、購買契約 (tdpur3600m000)、購買契約ライン (tdpur3601m000) または購買契約 (tdpur8330m000) セッションを使用して実行することもできます。

固有事項

以下は、法人購買契約に固有の内容です。

- 発注先選択の処理中に、企業計画でプッシュスケジュールにリンク可能な契約ライン詳細を検索すると、品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの計画品目用の倉庫が使用されます。この倉庫は、購買契約ライン詳細 (tdpur3101m100) セッションの購買契約ライン詳細の倉庫と同じクラスタの一部であることが必要です。
- 購買契約 [合計] ラインは購買契約ライン詳細にリンクされ、これらの契約ライン詳細の合計数量および総額が記載されます。
- スケジュール累計は、契約合計ライン別累計のリセット (tdpur3230m100) セッションの購買契約 [合計] ラインによってリセットされます。このセッションは、同じ契約合計ラインを共有するスケジュールの累計を同時にリセットするために必要なので、購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションからの価格の分割が意味をなします。

購買契約および購買スケジュール

購買スケジュールが生成されると、自動的に通常契約が購買スケジュールにリンクされます。特別契約をリンクするには、通常契約へのリンクを解除する必要があります。購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションの適切なメニューから [契約の変更] を選択して、選択購買契約ライン (tdpur3512s000) セッションから特別契約を選択します。

購買スケジュールについて入庫が記帳されていない場合にのみ、通常契約を特別契約に置き換えることができます。入庫が予定されている場合は、購買スケジュールの終了 (tdpur3210m100) セッションで既存の購買スケジュールを終了して新しい購買スケジュールを作成する必要があります。これで、新規に作成した購買スケジュールに特別契約をリンクできます。

契約が購買スケジュールにリンクされると、デフォルト値のリンクされた契約とともにスケジュールヘッダが更新されます。特定の住所、契約条件、価格、および値引がスケジュールにコピーされます。

注意

- 購買スケジュールの場合、現在の日付を使用して [有効] な購買契約が検索されます。
- スケジュールラインに構成部品が含まれる場合、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [オプション基準価格] チェックボックスがデフォルトでオンになります。詳細は、次の情報を参照してください: 購買スケジュール構成部品

購買契約および購買オーダー

購買契約を購買オーダーにリンクするために使用する処理は、購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの次のパラメータの設定に基づいています。

- [購買オーダー別許容複数特別契約]
- [最初の特別契約に自動リンク]
- [EP からの転送時の特別契約を選択]
- [購買オーダーを生成する場合に購買契約を考慮]

購買オーダーの場合、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [購買価格日付タイプ] フィールドに指定された日付 ([オーダー日付]、[システム日付]、または [納期]) を使用して、[有効] な購買契約が検索されます。

オーダーラインの有効な契約から条件を取得するために、オーダーラインにリンクする必要はありません。このため、有効な契約ラインがオーダーラインにリンクされている場合にのみ、契約番号がオーダーラインに指定されます。詳細は、次の情報を参照してください: 条件の取得

購買契約のオプション処理

多くの処理は、購買契約手順で必ず発生するわけではありませんが、特定の状況では発生します。次のことを行うことができます。

- 購買契約ラインの資材価格を使用します。資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格設定マスターの設定後に契約ラインの資材価格情報を取得できます。
- 契約の有効化/無効化 (tdpur3205m000) セッションで、購買契約範囲の有効化または非有効化を選択できます。
- 購買契約確認の出力 (tdpur3405m000) セッションでは、契約確認を出力して、購買元取引先に送信できます。
- 購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションで購買契約をコピーします。
- 見積依頼の変換 (tdpur1202m000) セッションでは、見積を購買契約にコピーできます。
- 契約に基づく見積依頼の生成 (tdpur3201m000) セッションで、購買契約に基づいて見積依頼を作成できます。
- 購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションでは、契約の有効期間の最後に合意数量を満たしているかどうかチェックできます。また、補外法によって有効期間内の契約の進捗状況をモニタすることもできます。偏差を含むレポートが出力されます。完了した契約の評価は、契約ラインを別々に出力しなくても実行できます。わずかな偏差は許容されるため、出力されません。
- 購買契約終了レターの出力 (tdpur3406m000) セッションでは、レターを送信して、購買取引先に契約の解約または終了を通知できます。
- 購買契約の削除/終了 (tdpur3203m000) セッションでは、有効ではなくなった購買契約または早期に終了した購買契約を終了または削除できます。

購買契約のコピー

購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションでは、購買契約をコピーできます。

通常契約から通常契約へのコピー、または特別契約から特別契約へのコピーはいつでも実行できます。通常契約を特別契約にコピーできるかどうか、また特別契約を通常契約にコピーできるか

どうかは、購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの次のチェックボックスの設定によって決まります。

- [特別契約を通常契約にコピー]
- [通常契約を特別契約にコピー]

新しい通常契約にコピーするときに、通常契約が次にすでに存在するかどうかを確認されます。

- 同じ期間
- 同じ価格グループまたは品目
- 同じ購買元取引先

このような契約がすでに存在し、契約状況が [有効] である場合は、コピーできません。

このような契約が存在しない場合、新しい通常契約にコピーするときに、次のように設定されます。

- 新しい契約の発効日が、古い契約の有効期限の翌日になる
- 契約期間が 1 年になる

契約は新しい契約番号でコピーされます。この番号は、購買契約 (tdpur3100m000) セッションで新しい契約を指定するときと同じ方法で決定されますが、発効日と有効期限は異なります。古い契約にリンクされている購買契約価格改訂の発効日が、新しい契約の有効期間内にある場合、その購買契約価格改訂が新しい契約にコピーされます。有効な価格改訂が存在せず、購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションの [価格をコピー] チェックボックスがオンの場合、古い契約の最終価格改訂が新しい契約の価格改訂にコピーされ、発効日は契約ラインの発効日と同じになります。

注意

価格を新しい契約の価格改訂にコピーするときに、古い価格改訂に含まれる値引と値引スケジュールは自動的にコピーされません。値引に関する情報を新契約の価格改訂にコピーするには、購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションで [値引をコピー] チェックボックスをオンにする必要があります。

古い契約の価格改訂の価格帳または値引スケジュールが新しい契約の実行時間で有効ではない場合、購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションの [新価格帳を作成] チェックボックスや [新値引スケジュールを作成] チェックボックスをオンにすることで、新しい契約用の新しい価格帳や新しい値引スケジュールを作成できます。

古い契約にリンクされている納入契約は、新しい契約にコピーできます。納入契約をコピーするには、購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションで [納入契約をコピー] チェックボックスをオンにします。

契約をコピーするときに、コピーされた契約ヘッダと品目ラインが契約履歴ファイルに記録されます。購買契約のコピー (tdpur3801m000) セッションの [終了契約ラインのコピー] チェックボックスがオンの場合、終了契約ラインも新しい契約にコピーされます。

購買元取引先の通貨は、契約の通貨と同じである必要があります。異なる場合、メッセージが表示されます。契約に同意する時点で、購買元取引先の状況は、[有効] である必要があります。購買元取引先と他の取引先の役割との間に、親関係が存在する必要があります。

購買契約の評価

購買オーダーまたは購買スケジュールに購買契約を使用する場合は、購買オーダーまたは購買スケジュールの手順の間および後に購買契約を評価できます。契約の有効期間の間、納入が契約で同意したとおりに行われたかどうかをチェックできます。契約の有効期間の最後に、合意数量が満たされたかどうかをチェックできます。

備考

購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [削除前に契約を評価] チェックボックスがオンの場合、購買契約の評価が必須です。

契約ラインの進捗状況を購買契約ライン - 分析 (tdpur3513m000) セッションで表示することもできます。

購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションで契約を評価するには、次の要件を満たす必要があります。

- 契約状況が [有効] である
- 契約にはコールオーダーが存在する
- 経過時間 (%) が指定された比率より大きい

契約ラインの評価方法は、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [数量まとめ] チェックボックスの値によって決まります。このチェックボックスにより、購買取引先と合意した [合意数量] が必須購買数量であるかどうかが決まります。

購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで [数量まとめ] チェックボックスがオンの場合、購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションにより次の差異が出力されます。

- 購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [コール数量] フィールドと [最大数量] フィールド
- 購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [コール数量] フィールドと [最小数量] フィールド

購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [数量まとめ] チェックボックスがオフの場合、購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションにより、購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションで指定した限界を超えたラインが出力されます。

数量に関して、わずかなマイナス偏差またはプラス偏差を許容できます。偏差は、購買契約の評価 (tdpur3420m000) セッションで次のようにして計算されます。

$$(\text{コール数量} + \text{請求数量} - (\text{合意数量} \times \text{経過時間係数})) \div \text{合意数量} \times 100\%$$

例

- 合意数量 = 100
- コール済 + 請求済 = 40
- 契約期間 = 10 日
- 経過時間 = 6 日

マイナス偏差 = $40 - 100 \times 6/10 \div 100 = -20\%$

この比率が許容比率を上回ると、契約ラインが出力されます。

注意

- [コール数量] は、契約にオーダーまたはスケジュールがリンクされるたびに増加します。逆に、納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションまたは購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションでオーダー/スケジュールラインが処理されるたびに、[コール数量] は減少します。
- 請求数量は、リンクされている購買オーダー/スケジュールラインが納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションまたは購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションで処理されると増加します。
- 購買契約の評価後、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [評価 [y/n/繰り返し]] フィールドが更新されます。
- たとえば、契約期間の終わりに最大数量が納入された場合などは、推定値を使用する補外法により不正確な結果が導き出されることがあります。この場合、中間評価では実際の数量とは異なるバックログが示されます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

会社

ロジスティック取引または会計取引を実行する作業環境。すべての取引データは、特定の会社のデータベースに保存されます。

管理するデータのタイプによって、次の会社に分けられます。

- ロジスティック会社
- 財務会社
- ロジスティック会社であり財務会社でもある会社

複数サイト構造では、各種データベーステーブルの内いくつかを特定の会社専用として、それ以外のデータベーステーブルを他の会社と共有することができます。

一般価格リスト

顧客仕様により生成された製品バリエーションは、選択したオプションに基づいた詳細販売価格を持つことができます。また一般品目の購買価格も生成できます。購買価格は標準原価計算に使用されます。購買価格あるいは販売価格に影響するような相互関係を持つ、異なる製品特徴のオプションがある場合、マトリックスを定義できます。

クラスタ

企業計画で、供給関係により互いに接続されている倉庫の分類

クラスタは、1つまたは複数の倉庫を含む、地理的な場所を表します。企業計画では、これらの倉庫を、計画目的で1つの単位とみなします。

購買オーダー

特定の条件に基づいて、どの品目が購買元取引先から納入されるかを示す契約

購買オーダーには次のものが含まれます。

- 一般的なオーダーデータ、購買元取引先データ、支払条件、および受渡条件を記載したヘッダ
- 実際に納入される品目についての詳しい情報を記載した、1つまたは複数のオーダーライン

購買スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。購買スケジュールは、頻繁に納入される長期の購買をサポートし、通常、購買契約によって支援されます。品目、購買元取引先、出荷元取引先、購買オフィス、および倉庫が同じである要求はすべて、1つのスケジュールに保存されます。

購買契約

購買契約を使用して、特定商品の納入に関する購買元取引先との特定合意を登録します。

契約は次のもので構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで関連条件合意が記載された購買契約ヘッダ
- (集中) 価格合意、ロジスティック合意条件、および数量情報が含まれる1つ以上の購買契約ライン。品目または価格グループに適用されます。
- ロジスティック合意条件および数量情報が含まれる購買契約ライン詳細。マルチサイト法人の特定サイト(倉庫)の品目または価格グループに適用されます。この契約ライン詳細があるのは、法人購買契約の場合だけです。

納入契約

タイムフェーズ納入のリストであり、契約から取得されて購買オーダーに変換されます。納入契約は実際のスケジュールではありませんが、購買オーダーを遅れずに生成するためのスケジュールソリューションです。

例

契約ライン	納入契約	購買オーダー (PO)
100 個	2000/12/01 20 pcs	PO1 2000/12/01 20 pcs
-	2000/02/08 25 pcs	PO2 2000/02/08 25 pcs
-	2000/12/15 40 pcs	PO3 2000/12/15 40 pcs
-	2000/12/22 15 pcs	PO4 2000/12/22 15 pcs

法人購買契約

マルチサイトの法人が使用する購買契約ライン。ここには、品目に関する取引先との合意がサイト (倉庫) によって指定されます。価格や数量の条件など、法人全体に適用される契約合意はこの契約ラインに指定されます。ロジスティック合意条件は特定のサイトにのみ適用されますが、この契約ライン詳細に指定されます。契約 (合計) ラインには、リンク契約ライン詳細の総数量情報が保持されます。

法人購買契約では、法人レベルで格安の価格合意を行い、この価格をサイトレベルで使用する場合に主に利用されます。

資材価格

資材の価格。以下の場合があります。

- 資材基準価格 (資材実際価格が (まだ) 適用されない場合)
- 次の構成要素の合計: 資材基準価格 + 資材価格付加費用 + 資材価格付加費用原価 (資材実際価格が適用される場合)

プッシュスケジュール

発注先に送付されるタイムフェーズ要件のリストで、企業計画やプロジェクトなどの中央計画システムによって生成されます。プッシュスケジュールには、長期の予測と短期の実際オーダーの両方が含まれています。

プッシュスケジュールは、次の発行タイプのいずれかを使用できます。

- [資材発行]: 資材発行のみが送付されます。出荷は、資材発行の [確定] 所要量および [即時] 所要量に基づいて実行されます。
- [出荷スケジュール]: 資材発行および出荷スケジュールの両方が送付されます。出荷は、出荷スケジュールの [確定] および [即時] 所要量に基づいて実行されます。資材発行は予測データを送付するだけです。
- [出荷スケジュールのみ]: 出荷スケジュールのみが送付されます。出荷は、出荷スケジュールの [確定] および [即時] 所要量に基づいて実行されます。予測データは発注者に送付されません。

構成可能品目

特徴およびオプションを選択できる品目であり、この品目に対するすべての活動を実行できるように事前に構成しておく必要があります。構成可能品目が一般品目の場合は、構成後に新しい品目が作成されます。製造品目または購買品目の場合は、品目コードとオプションリスト ID で構成が識別されます。

- デフォルト供給ソースが [組立] 品目および [一般] 品目に設定されている [製造] 品目は、常に構成可能品目になります。
- 購買スケジュールが使用中の [購買] 品目は、場合によっては構成可能品目になることもあります。
- 構成可能 [購買] 品目は、組立管理でのみ使用できます。

構成済品目

構成済の構成可能品目であり、この品目に対してオプションと特徴が選択されています。

構成済品目には、構成済の部品が含まれていることもあります (バイク用のライトが装備されたバイクなど)。構成済品目が完成品の場合、その品目は構成可能な部品が含まれており、製品バリエーションとして保管されています。

条件合意

商品の販売、購買、転送に関する取引先の間での契約であり、オーダー、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件を定義し、正しい条件を取得するための検索メカニズムを定義できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性 (フィールド) とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダー、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

見積依頼 (RFQ)

(いくつかの) 製品の納入について、入札者に条件 (価格、値引、納入時間、および支払条件など) の提出を要求するために使用する購買伝票

見積依頼は複数の入札者に送付することができます。入札者は、指定品目の見積依頼回答を提出できます。

回答の記録、交渉、およびさまざまな入札者から提示された価格と値引の比較を行うことができます。

受け入れられた回答は、契約、オーダ、価格帳にコピーできます。

集中契約

特定の契約オフィスがリンクされていない契約

契約価格改訂

購買契約ラインの価格要素および値引要素についての、日付管理された合意。価格改訂を使用すると、長期にわたって複数の価格を有することができます。有効な改訂は、発効日から次の改訂の発効日まで、または契約ラインの有効期限まで有効です。

累計 (CUM)

会計年度初日から今日までの、出荷済、在庫済、および請求済数量についての合計

累計は、需要と比較して状況がスケジュールより前後するかどうかを追跡するためのスケジュール統計として使用されます。

有効期間

発効日と有効期限で定義される、レコードが有効となる期間

ロジスティック合意条件

スケジュールメッセージ、凍結期間、権限、納入パターン、運送業者などのロジスティックデータに関して発注先と顧客の間で合意される必要のある条件

通常契約

顧客指向の契約で、発注者と顧客によって合意され、特定合意を記録するために使用されます。通常契約は、通常、約 1 年間有効です。

特定期間の同じ取引先に別の有効な契約が存在する場合は、通常契約を有効にすることはできません。

購買契約ライン

特定品目についての発注先との合意。購買契約ラインには、一定期間の 1 つの品目の供給に関する取引条件およびロジスティック条件の両方が含まれます。

法人購買契約の場合、購買契約ラインは [合計] ラインです。これは[購買契約ライン詳細](#)にリンクされているからです。

購買契約ライン詳細

特定サイト (倉庫) の特定品目に関する発注先との合意。購買契約ライン詳細には、一定期間中の特定倉庫での 1 つの品目の供給に関する数量条件およびロジスティック条件が含まれます。

この契約ライン詳細があるのは、法人購買契約の場合だけです。

特別契約

顧客指向の契約で、購買元取引先と販売先取引先によって合意され、特別なプロジェクトの特別な合意を記録するために使用されます。特別契約は、販促契約の場合もあります。

特別契約では、同じ品目/取引先の組合せについて、有効期間の重複が許可されます。

索引

適切なメニュー, 23
会社, 23
ロジスティックデータ, 10
一般価格リスト, 23
クラスタ, 23
購買オーダー, 24
購買スケジュール, 24
購買契約価格改訂, 10
購買契約, 24
 オプション処理, 19
 コピー, 19
 ロジスティックデータの設定, 10
 価格改訂の設定, 10
 指定, 9
 納入契約の設定, 11
 評価, 21
 法人, 13
納入契約, 11, 25
法人購買契約, 13, 25
資材価格, 25
購買契約ラインロジスティックデータ, 10
プッシュスケジュール, 26
構成可能品目, 26
構成済品目, 26
条件合意, 26
見積依頼 (RFQ), 27
集中契約, 27
契約価格改訂, 27
累計 (CUM), 27
有効期間, 27
ロジスティック合意条件, 27
通常契約, 27
購買契約ライン, 27
購買契約ライン詳細, 28
特別契約, 28
